

コロナ禍およびポストコロナにおける 健康寿命延伸のための栄養と身体活動

日時: 2022年3月3日(木)9:30~16:55(9:00より本シンポジウム接続先のURLから入室できます)

場所: オンライン(Zoom webinar)

主催: 特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構(ILSI Japan)

参加費(消費税込み): 一般企業・個人: 3,000円

国公立機関・大学・学校・行政・地方自治体・医療関係者: 2,500円

ILSI Japan会員企業メンバー: 2,000円

学生: 1,000円

申込方法: 本シンポジウムのホームページ(下記)をご確認頂き、事前に参加登録をお願い致します。

<http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/LEC/LifeScience/LifeScience2022.php>

参加申し込み後メールが届きますので、その内容に従い、必ずZoom webinarの登録を行って下さい。

申込期間: 2021年12月1日(水)~2022年3月2日(水)昼12:00まで

* シンポジウムを聴講し諸手続きを行うと下記いずれかの研修単位を取得することができます。

- 日本栄養士会「生涯教育制度」実務研修 全分野共通 講義 1単位
- 日本臨床栄養協会「NR・サプリメントアドバイザー制度」更新単位 5単位
- 健康・体力づくり事業財団「健康運動指導士・健康運動実践指導者制度」更新単位 3単位

開催内容

ILSI Japanは、2006年から継続して「ライフサイエンス・シンポジウム」を開催しています。新型コロナウイルス感染症の大流行(コロナ禍)は、我が国のみならず世界中の人々の生活を大きく変えました。コロナ禍およびポストコロナにおける日本人の健康寿命の延伸のための生活習慣はどうあるべきかに関して、積み上げられた研究成果を共有・議論し、国民全体の健康に寄与することを目的として、以下の通り本年度のシンポジウムを開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開会の挨拶 9:30~ 児島 宏之 (ILSI Japan 理事長)

基調講演 疾患横断的エビデンスに基づく健康寿命延伸のための提言(第一次) 9:35~

- ◆ 座長: 宮澤 陽夫 (東北大学)
- ◆ 講師 津金 昌一郎 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)

シンポジウム1: テーマ: 免疫と栄養・運動 10:35~

- ◆ 座長: 清水 誠 (東京大学名誉教授、東京農業大学客員教授)
- ◆ パネリスト: 國澤 純 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)、
辻 典子 (十文字学園女子大学)、酒井 徹 (徳島大学)、鈴木 克彦 (早稲田大学)

シンポジウム2: テーマ: コロナ禍およびポストコロナでの運動と栄養 14:00~

- ◆ 座長: 宮地 元彦 (早稲田大学 教授、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)
- ◆ パネリスト: 篠原智行 (高崎健康福祉大学)、山田 実 (筑波大学)、大塚 礼 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター)、駒田 陽子 (明治薬科大学)、枝 伸彦 (獨協医科大学)

閉会の挨拶 17:10~ 篠田一三 (ILSI Japan 栄養研究部会 部会長)

* 各シンポジウムでは、各パネリストの講演後、総合討論となります。